

あの日  
彼女がピア  
ツを  
つけな  
つかつた  
わけア

mon-petit

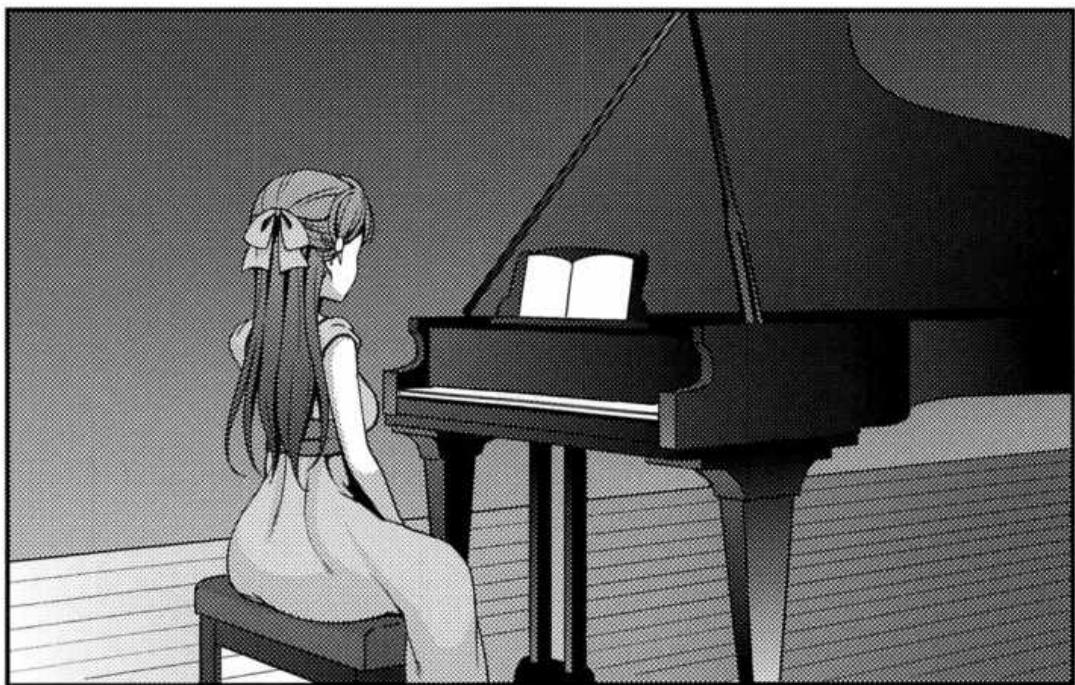
R18

For Adult Only

そして調教された私はあの日

多くの人の前で演奏する事を恐れて

ピアノを弾くことが出来なかつたのです。



弾あの日  
けなか彼  
つ女たが  
わけピアノを

その先生は  
私の演奏を聞いて  
ひとことこう言つた

君の演奏には  
艶がないねえ

ピアノの音色に心が  
こもつていなない  
奏ほんとうの意味で音を  
でていなないんだ

その時の私は  
とても大きな  
スランプに  
陥つてしまつて：

そう  
君の演奏は  
あくまで技術を  
見せびらかせて  
いるにすぎない

艶…ですか？

もし君が望みなら  
教僕は君にそれを  
教える事が出来るが…

どうかね？

普通なら断る提案に  
すがらなければ  
ならないほど  
追い詰められて  
いたのです

は…い

先生は  
言いました



どうだね?  
感じるかい?

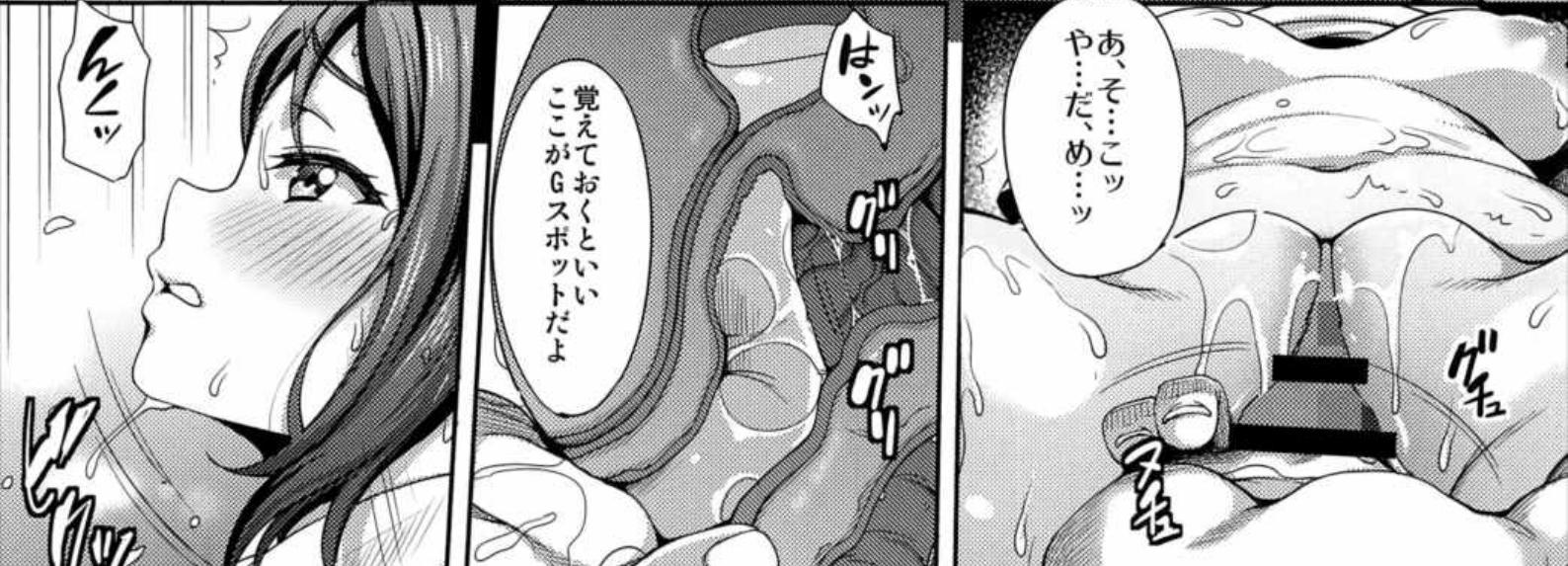
は…い

自分で弄つた  
事のない性器に  
擦クリトリスを  
られ快感を

どれも私に  
経験のない事

覚えておくとい  
ここがGスポットだよ

やあ、そ…こッ  
や…だめ…ツ



男性経験どころか  
自慰行為すら  
知らなかつた私は



いつたようだね  
これを覚えておくといい  
これから嫌といふほど  
味わうからね

その未知の快感に  
耐えきれずあつさりと  
初めての絶頂を  
迎えてしまつたのです

脳天まで  
初めれるような感覚  
オーガズム

それは確かに私が  
今までに経験した  
中でもっとも  
鮮烈なものでした

ここに手をついて

はい…

え…?

それじゃ  
挿れるよ

あつ  
ああ…ツツ

ちょ、ちょつと  
待つて下さいっ



先生は男性器をまるでリズムをとるメトロノームのように抽送しました



はじめはその衝撃に困惑していた私ですが

次第に快感の波とピアノを滑る指の調子が重なつていき…

あつまたあつ  
きちやううつ

ダメつ…  
こんな…無理です…

あつんツ

あ

ハ

頭で考えるなツ  
リズムと音と快感を  
その殻で感じながらを  
演奏するんだツ

そうだツ  
そのまま上り  
つめろツ

110

110

110

110

最後の和音が  
鳴り響いた時

私の口からも  
激しい絶頂の嬌声が  
がつたのです

あああああ  
あああ

本当の演奏の快感  
それを初めて  
感じた事の出来  
瞬間でした

あ  
…  
つ

い

そのあと私は  
この感覚を体に  
叩き込まれるよう

毎日のように  
演奏しながら  
絶頂させられたのです

曲の盛り上がりに  
呼応するかのように  
激しく振動する  
ローターや電マ

ほら  
またテンポが  
ズレてきてるぞ  
すみません

あ…ツダメえツ  
私…またあ…ツ

いいぞツ  
そのままいけツ  
叩き込めツ  
体にその感覚を

リズムに合わせて  
抜き差し  
されるバイブ

様々な方法で  
繰り返し体に  
快楽と絶頂

旋律快感絶頂

旋律快感  
そしてまた絶頂

迎えられたの度に私は  
演奏の度に私は

お尻りいツ  
おしりで…  
イッちや…んつ

オシ

下子宮口が  
下りて來てるぞ

このまま  
子宮全体で  
音を快感を  
受け止めるんだ

イクッ

イッちやうツツ

は…いツ



またある時は  
ピアノの音を深く  
体に刻みつける為に

演奏しながら鑑賞も  
行なはなくまさらの行為も



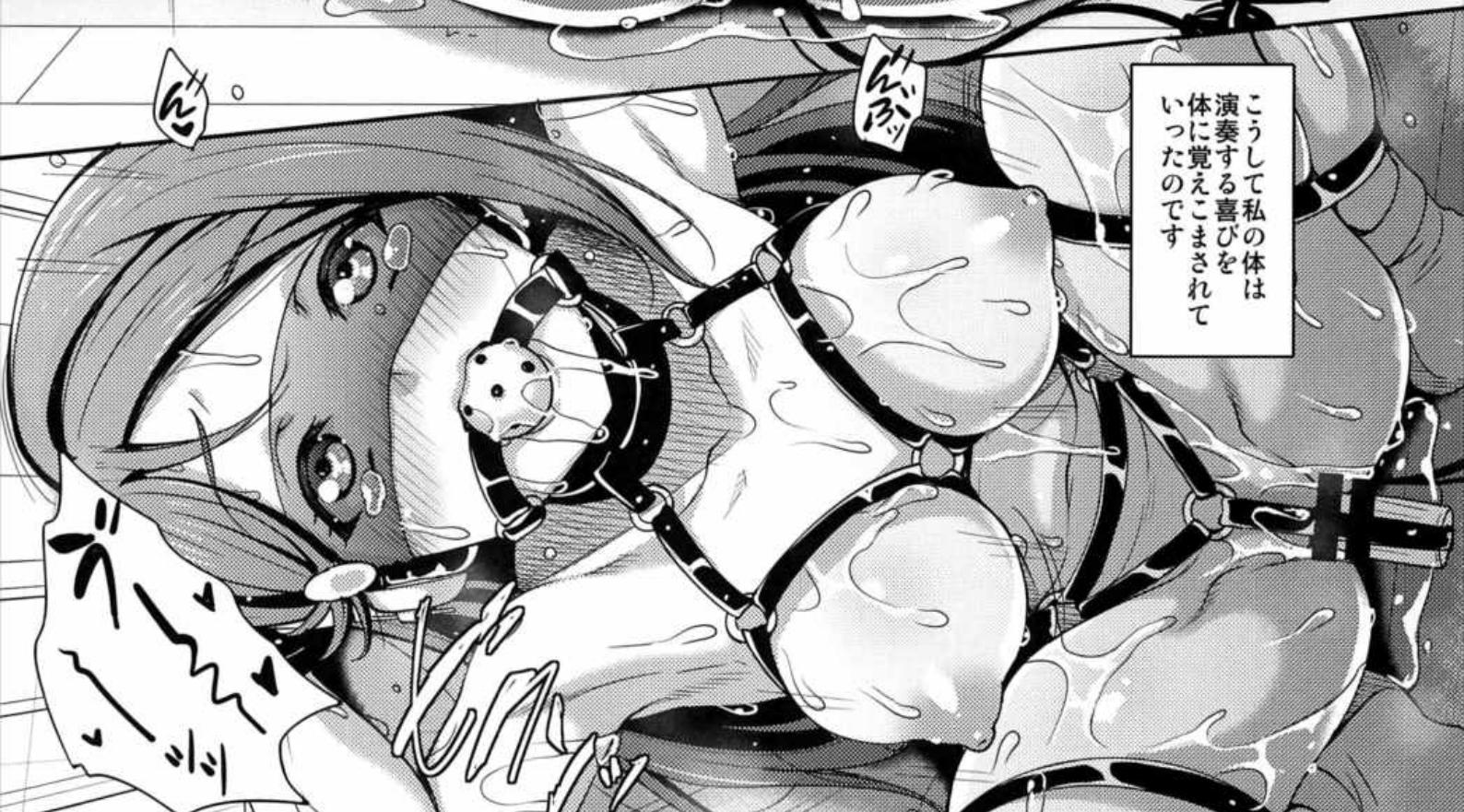
イクッ  
またイックちゃうッ

目隠しをする事により  
一層深く音と快感を  
感じる事が出来る

この状態で繰り返し  
絶頂する事で音色と快感が  
一層高まりました



こうして私の体は  
演奏する喜びを  
体に覚えこまされて  
いったのです



次に先生がスンには  
コンクールで練習でし  
たい為の

人目に晒される事に  
慣れる為に私は  
このような格好で  
街を歩かされました

ツ

ツ

自目街行く人とすれ違い  
見透かされ現状を

そんな羞恥心に  
快感を覚えたのです

あ  
ら  
れ  
て  
る

恥ずかしい格好を  
見られてる…ツ

ドキドキ

ドキ



羞恥心が薄れてきた  
私の行為は  
エスカレートしていく

ふふ…  
まるで発情した  
犬そのものだね

ほら梨子ちゃん  
しつかり  
歩きなさい

わんわんッ

いづしか  
恥ずかしさすらも  
快感に  
変わつて  
いくの  
です

んん…ッ





見てくださいツツ

快感を求める  
あさましいその姿は  
もう以前の私ではあります



おいおい  
こんなぶつとい  
の出せるんだよ

おつほ  
綺麗な子でも  
くせー一ものは  
いんだなあ

ん…つ

あ…つ

ア

ア

ア

ア

そして…



演奏中ずっと疼いて  
もう我慢出来ないんです

どうかこの  
いいやらしい  
ひくつくキレイ  
皆様のご褒美ツマン  
ださいを  
ココおに

私達も  
情熱的な  
楽しそうな  
ショーンを

それじゃ先程  
演奏に負けないの  
よう

はん



どうかそこはか  
どうかな?

快感の波が  
下腹部から上部に  
かけてきます

あつ  
い奥に  
つけられ  
て



あ～あ～

あつ  
どつ  
ちも：  
どつ  
ちも好きです

まんこも  
ケツマンコも  
ズボズボされるの  
好きです

110  
110

はう

あ

ひふ

アホ

梨子くんは  
前と後ろどつちが  
好きなんだい？

連番はまた違った  
趣の音色を  
楽しめるじゃないか

おやおやここれは

あツ

それならもつと  
楽しくなるよう  
合奏といこうか



ダメつ  
ピアノがツ  
音色が体に響いてツ

感覚がつ  
もつと…ツ  
気持ちよくなつて…ツ

おやおや  
どんどん音色が  
高くなつて来てるぞ

もうイキそう  
なのかなね

は…いつ

あつみみなさん  
変態のさんツ  
見イクところ  
くださいをがツ

あ  
あ  
あ  
う  
う  
う

あ  
あ  
あ  
あ

随分と  
貰えましたね

ええ  
ここまで淫乱な子  
そうそう  
出会えませんからな

ははは

これは是非  
聴きにいかないと

ははは  
それは楽しみですね

しかし  
ここまで調教が  
進んでもいると  
大勢の前で絶頂して  
しまうんじやないのか？

変態梨子くんの  
晴れ舞台ですね

あ…

ははは

## あとがき

本を読んでいただきありがとうございました。  
タイトルにある通り話の流れはピアノを弾くと  
感じるようになされた梨子がコンクールで弾くのが怖くなり  
弾けなくなつたという話になつてます。  
中身からだとタイトルの意味がわかりにくかったです。

表紙も内容を描く前に描いたせいで全然中身と関係ない  
スクールアイドル活動の表紙に。

今回の話は元々前半は昔の学校での調教パートと  
逃げた先の浦の星女学院で精神が落ち着いたところに  
調教した先生が来てこっちでもまた調教される  
という二部構成でしたがまあいつも通り時間がなくて無理でした。

毎回この言い訳ですね。

最後のページがアレな出来なのは時間がなくて  
今さっき急ピッチで描いたからです。  
すみません。

まあ中身の話はこんなもんです。  
商業はワニさんとコアさんではちぼちやってくと思います。

それではまた次の本でお会いしましょう。

## 奥付

発行日	2016/12/31
著者	もんふち
印刷所	緑陽社
連絡先	lapislazuli17@gmail.com
Twitter	@monpetit17
HP	<a href="http://monpetit17.blog.fc2.com/">http://monpetit17.blog.fc2.com/</a>



**R18**  
For Adult Only